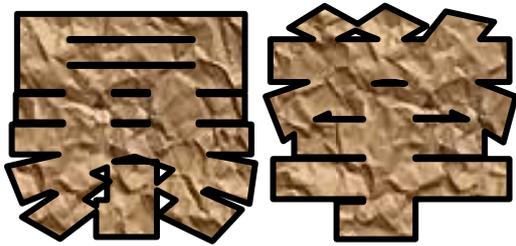


9条解釈を密室で覆す



99条 擁護義務違反は頬かむり

4年(平成26年)7月1日 火曜日 享月 白 薬斤 萬四 新聞定価 郵分別送の

2014年7月1日、安倍内閣は**集団的自衛権の行使**を容認のため、憲法解釈を変える閣議決定を与党内の密室で強行！主権在民をないがしろ、国民と向き合わず、密室の姑息な手法で民を欺く姿のみを露呈した！



東京 首相官邸の前には市民らが集まり、反対を訴えた。11時30分、玉重隆撮影

権力の暴走

自らの義務「99条=大臣・公務員の憲法擁護義務」には頬かむり、**立憲主義を真っ向から否定**して権力の暴走を縛る憲法を骨抜きにし、国民を縛ろうとする暴走。そればかりか記者会見で「現行の憲法解釈の基本的考え方は何ら変わる事はない」とうそぶく始末。わずか15分程であっけなく終えた。日本国憲法が、世界中の人々の平和的生存権のために戦争放棄・戦力放棄に挑戦した事などは思考の外だ。

国民を欺く
安倍晋三内閣



秘密保護法と同手法

年末の駆け込みで国際基準「ツワネ原則」に違反の秘密保護法成立を急ぎ、批判の盛り上がりをかかわそうと形だけの公聴会を福島で開いて、自民党みずからが推した浪江町長の発言=住民に余分な被曝させた国の責任を暴く「秘密保護ではなく情報(speedi データ etc)公開が一番大切な事だ」=に慌てながら、通常では有り得ない翌日の衆議院で強引に成立させたやり方と重なる!! ことここにきて、70年近く育んできた平和憲法を、詭弁を重ね国民を欺きながら放棄、戦争する国にひたすらだ。国会予算委員会の答弁では、閣議決定で触れなかった集団安保にも踏み込み、まさに多国籍軍として戦闘を目指す、自衛権ではなく「**戦争権**」を顕わにした。関連法の審議を4月の統一選後に先送りするのは、世論の強い反発が多少弱まる読みとの報道も。

働く者の犠牲の上に、戦争する国をめざす 暴走安倍内閣

安倍政権の暴走はこれだけではありません！



私たちは秘密保護法を市民の皆さんに訴えた年末からの街頭宣伝に続き、「残業代ゼロ法案・正社員ゼロ法案」と言われる悪法=派遣法改悪反対などの労働法制総破壊の問題、プルトニウム核保有と直結する原発を廃炉になど、今後も取り組んで行きます。「同質の集団の集まりは『和』にしかならないが、異質の集団の集まりは『積』になる」…(13日、西宮、宇都宮健児さんの講演より)

前進しましょう!!

